



小さい“つ”が消えた日

ステファノ・フォン・ロー／文
トルステン・クロゲンブリック／絵
小林多恵・岩田明子／日本語監修
三修社(2008年) 本体価格1400円＋税



「もし、小さい“つ”に音がないのなら、なくてもいいんじゃないの？」
悲しくなった、小さい“つ”は、文字たちが住む五十音村から家出してしまい、日本語は大混乱します。文字を妖精に見立てて、ファンタジーにしよう、外国人の発想がユニークです。

※新風舎2006年刊の加筆、複製。
新風舎出版の本は武蔵野台のみ所蔵。

ナゲキバト

新装改訂版



人はいかに生きるべきか。小さな僕に教えてくれたのは祖父だ。両親を事故で亡くし、二人で暮らした日々の思い出。なかで忘れることができないこと。それは、あの夏ナゲキバトを撃ってしまった日のこと。少年に対する祖父のあたたかい思いが胸をうちます。



ラリー・パークダール／著
片岡しのぶ／訳
あすなろ書房(二〇〇六年)
本体価格一三〇〇円＋税

ノーと私

ルーは13歳の高校1年生。
ノーはホームレスの女性。
境遇は違うけれど、友達同士になる二人。
そしてルーは、ノーを更生させようと、ある決心をします。切なさを含んだ、ルーの成長物語。
2008年フランス本屋大賞受賞作。

デルフィーヌ・ドゥ・ヴィガン／著
加藤かおり／訳
日本放送出版協会(2008年)
本体価格1600円＋税



長編小説

～a novel～

長編小説

～a novel～

算法少女

江戸時代の数学の本を元に、書かれた本です。
13歳のあきは、算法(数学)が大好きな女の子。ひょんなことから、算法の流派!?争いに巻き込まれます。勝負の行方は?読むと、数学の見方が変わります。

遠藤寛子／著
ちくま学芸文庫(2006年)
本体価格900円＋税



H野



森見登美彦／著
角川文庫(二〇〇八年)
本体価格五五二円＋税

※二〇〇六年版も全館所蔵。

「左京区と上京区を合わせても並ぶものなき硬派」と自称する「先輩」が黒髪の乙女に恋をした!持ち前の消極的情熱さをもつて彼女を追いかけ、彼女との間に立ちほだかるは個性豊かな曲者たち。レトロでポップな京都発ラブコメディ。この胡散臭さ、癖になります。

夜は短し歩けよ乙女

ずっと、そこにいるよ。

ここは優しさが混ざり合う場所。見えてしまうということを知る優しさ、気持ちを察してあげる優しさ…。とある高校の文芸部員たちが集う図書室は、生きている人とそうではない「人」に同じ優しさで接することのできる少女一季里が、その居場所を守られているところだから。

早見裕司／著
理論社(2008年)
本体価格1500円＋税

T田

